


不思議な脳の世界にとびこもう

代表 大阪大学大学院医学系研究科 佐藤宏道
 後援 大阪府教育委員会
 主催 大阪大学神経科学グループ
 会場 大阪大学中之島センター佐治敬三メモリアルホール
 日時 4月23日(土) 13:00~17:00

不思議な脳の世界にとびこもう



内容

1) 講演 轟 義郎 (鳥取大学大学院医学系研究科) 「脳の育ち方」
 藤田 一郎 (大阪大学大学院生命機能研究科) 「ものを見る脳のしくみ」
 松本絵理子 (神戸大学国際文化学部) 「ヒトの脳機能障害と行動変化」

2) 実習 逆さ眼鏡をかけてみよう

主催: 大阪大学神経科学グループ (代表: 佐藤宏道、大阪大学大学院医学系研究科)・NPO脳の情報推進会議
 後援: 大阪府教育委員会、文部科学省、厚生労働省
 日期: 平成17年4月23日(土) 午後1時~5時
 場所: 大阪大学中之島センター(10F) 佐治敬三メモリアルホール 大阪市北区中之島4-3-63 tel. 06-6444-2100
 連絡先: 大阪大学大学院医学系研究科 七五三木 部 tel. 06-6850-6022

ENTRY FORMS Entry: 9 City: Osaka

Title of Event:

Challenge to the Brain World

Type of event: Lecture and experiments

Event description: Lecture

① “Development of the brain”

Prof. Yoshio Hata

② “How does the brain see?”

Prof. Ichiro Fujita

③ “Behavioral deficits in brain-damaged patients” Prof. Eriko Matsumoto Experiments

“Experiencing the inverted visual world with prism goggle”

Date: APR. 23, 2005 Time: 13:00-17:00

Full address of event location:

Osaka University Nakanoshima Center, 4-3-53 Nakanosima, Kitaku, Osaka, Osaka 530-0005 JAPAN

Audience: University and high school students/general

Contact name: Hiromichi Sato

Event organization and address: Osaka University Neuroscience Group, Graduate School of Medicine, Osaka University, 1-17 Machikaneyama, Toyonaka, Osaka 560-0043 JAPAN

TEL / FAX: +81-6-6850-6021/+81-6-6850-6021

Email: sato@vision.hss.osaka-u.ac.jp

Program

司会 大阪大学大学院医学系研究科認知行動科学教授 佐藤 宏道

13:00~13:50 講演1「脳の育ち方」

鳥取大学大学院医学系研究科教授 轟 義郎

13:50~14:40 講演2「ものを見る脳のしくみ」

大阪大学大学院生命機能研究科教授 藤田 一郎

14:50~15:40 講演3「ヒトの脳機能障害と行動変化」

神戸大学国際文化学部助教授 松本絵理子

15:40~17:00 実習 逆さ眼鏡をかけてみよう

開催趣旨

「世界脳週間2005」の大阪地区行事として高校生を主たる対象とする講演会および実習「不思議な脳の世界にとびこもう」を開催することになりました。本行事では高校生・大学生・一般の皆さんに人間の生物学的、文化的、社会的営みの源である脳の働きや仕組みをわかりやすく解説し、またプリズム眼鏡による視野変換を体験することによりふだんは意識しない脳の働きに気づいていただきます。脳研究に対する関心を深めることにより、学ぶことへの意欲を育みたいと考えています。

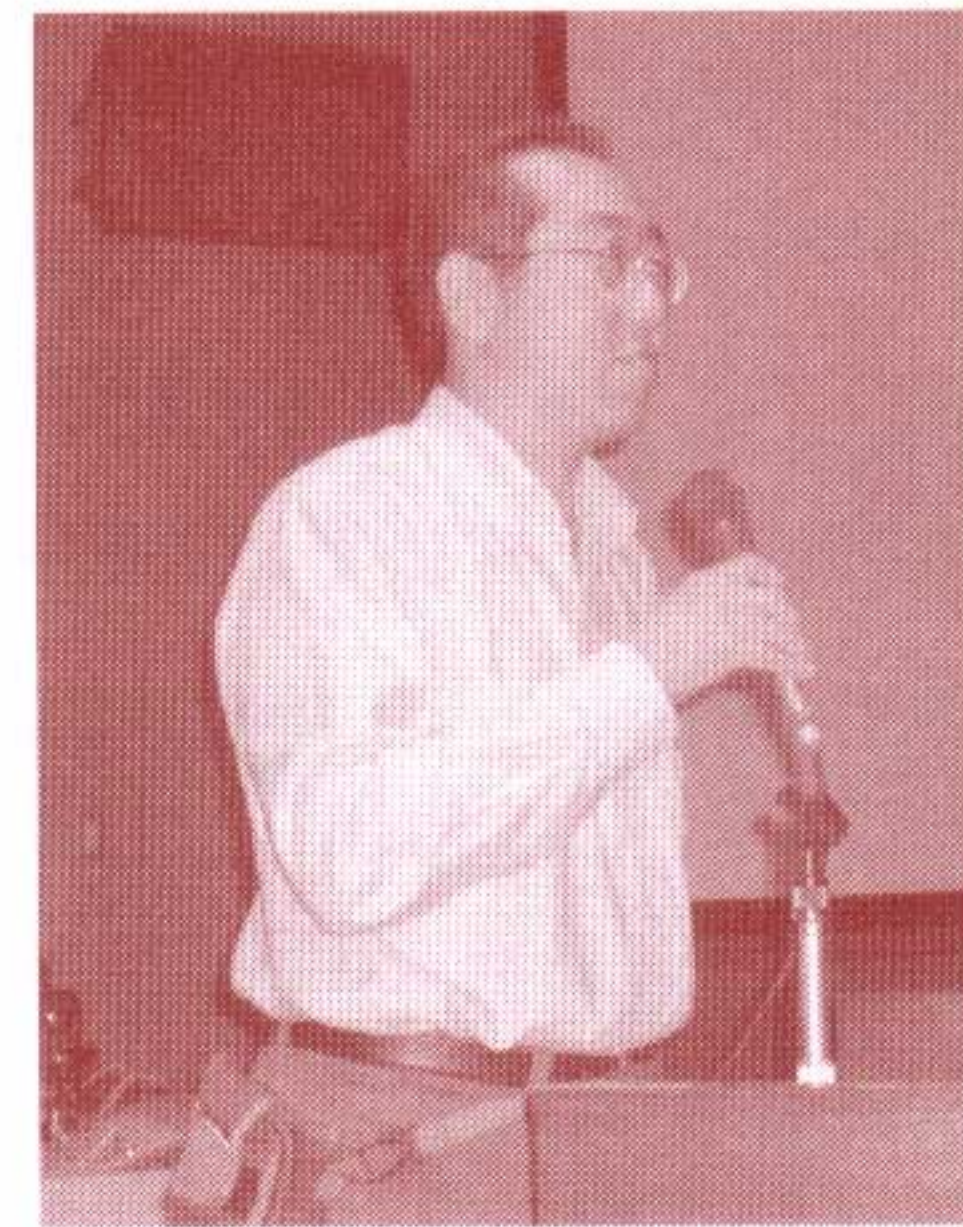
イベントを終えて

参加者は60名。大学生および一般人が中心で、年齢は13歳から80歳までと多様だった。会としては驚くほど盛り上がりを見せ、参加者は極めて和気藹々とした雰囲気の中、積極的に討論および実習にも参加していた。可塑性・認知システム・神経心理の専門家である3名の講演者はそれぞれ「脳機能の発達とそのしくみ(轟義郎)」、「脳の働き方(藤田一郎)」、「脳損傷と行動傷害(松本絵理子)」について具体的にわかりやすく解説した。参加者からの質問がとぎれず、司会が遮って進行調整せねばならぬ場面がたびたび

あった。特に高齢の参加者の学習意欲が高く、その質問も素朴なものから専門的なものまで多岐に渡り、講演者がたじたじとなる場面も見られた。講演後、実習として、

直角プリズム眼鏡で上下視野を反転して机上の線トレース、左右視野を反転して歩行をする作業を行った。これはふだん当たり前にやっている視覚による運動制御という作業にどのような脳の働きが隠されているのかを理解するのに非常に優れた実習である。参加者は、驚きの声をあげながら一時間半にわたって作業に取り組み、なかなか眼鏡を手放そうとしなかった。

アンケート結果も非常に好評であり、参加者の満足度という意味では大成功というべきだが、高校生の参加が少なかったことが残念であった。大阪府教育委員会の後援をとりつけ、大阪、奈良、兵庫の十数校に案内、ポスター、チラシ、地図を多数送り、参加要請したが、高校生の参加は2、3名という結果だった。高校の教員グループに直接協力要請するなどの工夫が必要であろう。



轟義郎教授



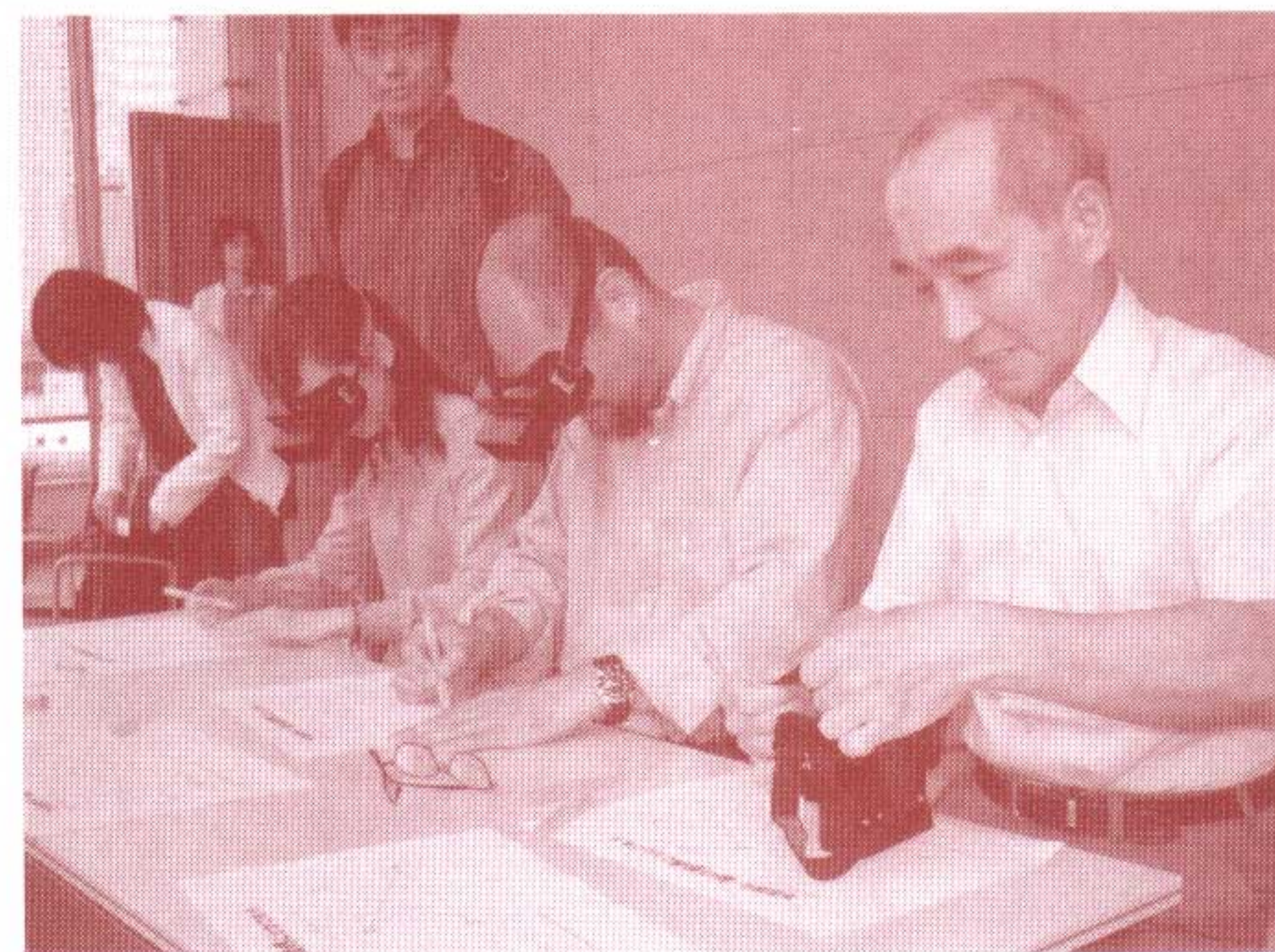
藤田一郎教授



松本絵理子助教授



左右視野変換実習



上下視野変換実習



会場風景